

第2回敷島地区地域審議会会議録

- 1 日時 平成26年11月12日(水) 14:00～16:00
- 2 場所 甲斐市役所敷島庁舎会議室1 敷島保育園・敷島子育てひろば
- 3 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 企画政策部長あいさつ
 - (4) 現地視察
敷島保育園・敷島子育てひろば
 - (5) 報告事項
 - ①敷島・双葉支所の日直業務の廃止及び本庁宿直業務の民間委託について
 - ②地域審議会について
 - ③地域審議会アンケート調査について
 - (6) その他
 - (7) 閉会
- 4 出欠席者
 - (1) 出席委員〔6名／7名〕
 - (2) 欠席委員〔1名〕 赤沢委員
 - (3) 事務局 小田切企画政策部長、内藤秘書政策課長、中込敷島支所長
総務課総務係：小澤係長、伊藤
秘書政策課総合政策係：丸山係長、小澤主査、古屋主任
- 5 主な質疑
 - ①敷島・双葉支所の日直業務の廃止及び本庁宿直業務の民間委託について
 - ・支所勤務の職員の日直業務についてはどうなるのか。
⇒支所に勤務している職員も、本庁での日直業務に勤務する。
 - ・議会等で了承を得た案件を審議会に提出する必要があるのか。
⇒敷島及び双葉庁舎の日直業務を廃止することで、敷島・双葉地区の住民に何らかの影響がでてしまうこともあるため、地域審議会に報告し、理解をいただきたい。
 - ・甲斐市職員が人口規模に対して少ないことは承知している。職員の苦労が多いことも理解している。総論的なことになるが、住民を教育する施策があっても良い。
 - ・報告事項であっても、地域審議委員には承知しておいてもらいたい、という事務局の意向は理解できる。報告事項でも必要な報告はある。
 - ・当直勤務の見直しは費用面を考えても良いこと。市民への周知徹底を図ってほしい。

・国は技能労務職員が従事する業務は正職員ではなく、民間委託にするよう指導しているとの報道を聞いたことがあるが、その一環か。

⇒民間のノウハウを導入してコストを削減し、削減したコストは新たな行政サービスに充てる。

・各種届出を受けることになる受託業者には十分な研修を実施してほしい。

⇒5月からの業務委託に先立ち、4月中に研修を行う。委託後も1か月程度は総務課職員等と一緒に宿直業務に従事するなどの対応をしたい。

・有事の際の対応なども含めて、市民に周知をしていただきたい。

②地域審議会について

・合併して10年経ち、旧町で分けて議論する必要は無くなっていると感じる。今後は市全体の審議会を設けるのか、他の機関に代えるのか、市はどう考えているか。

⇒総合計画の策定や市民対話集会など、様々な機会を設けて市民の声を聴いていきたい。

・諸般の問題が軌道に乗り、地域意識も薄れ、地域審議会は使命を達したと考える。

③地域審議会アンケート調査について

・質疑無し

その他

・旧敷島保育園の跡地について、市の活用方針はどうか。

⇒周辺自治会から利用の要望があるが、現時点では市としては明確な計画は無い。

・幼稚園と保育園を一緒に建てることは可能か。

⇒幼稚園は扱いの人数が減っている。幼保一元化で、小さい子どもを預けやすい方向になっている。

・敷島保育園を視察して、ブランコの周囲に柵が無いので危険ではないかと感じた。

⇒担当課に確認する。

・介護保険未使用者に市からの祝いの品がもらえるが、もらうために申請が必要なのはおかしい。また申請という言葉を使うことも納得いかない。

⇒担当課に確認する。

・夫婦や親子など同一世帯の者に同じ文書を送るときでも、別々の封筒で送付するのは、無駄ではないか。

⇒同一世帯でも別々に送付を希望する人もいる。また、世帯ごとに封入すると送付先の誤りにもつながる。選挙の入場券など合理化できる部分については、合理化を考えている。